

関係各位



センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

ラックマウント型 RADIUS サーバアプライアンス FutureNet RA-1400 発表のご案内

センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)はこの程、ラックマウント型の RADIUS サーバアプライアンス「FutureNet RA-1400」を発表します。



FutureNet RA-1400(以降 RA-1400 と略します)は大規模ネットワーク向けの RADIUS サーバアプライアンスです。ギガビットに対応したイーサネットインタフェースを2ポート備え、大規模な IP-VPN サービスの RADIUS 認証サーバとして利用できます。また、認証スイッチ、無線 LAN アクセスポイントでおこなう IEEE 802.1X 認証の認証サーバとしても利用できます。プライベート CA(認証局)機能を備えており、本製品だけで IEEE802.1X 認証に必要なデジタル証明書の発行から認証までのすべての機能が実現できます。

さらに、外部ユーザデータベースとの連携、プライマリ・セカンダリ方式や親子連携による冗長化、アカウントログ管理、ユーザの一括作成機能、わかりやすい Web 設定画面などを備え、高い機能と信頼性を求められる企業環境の認証サーバをこの1台で実現、運用できます。その他、弊社の VPN ルータ FutureNet NXR シリーズの「Web 認証機能」や「IPsec 機能」との連携にも対応しています。

RA-1400 はラックマウント型の認証サーバアプライアンスとしてご好評頂いている FutureNet RA-1300 の後継機で、そのすべての機能を引き継いでいます。

■ RADIUS サーバ機能

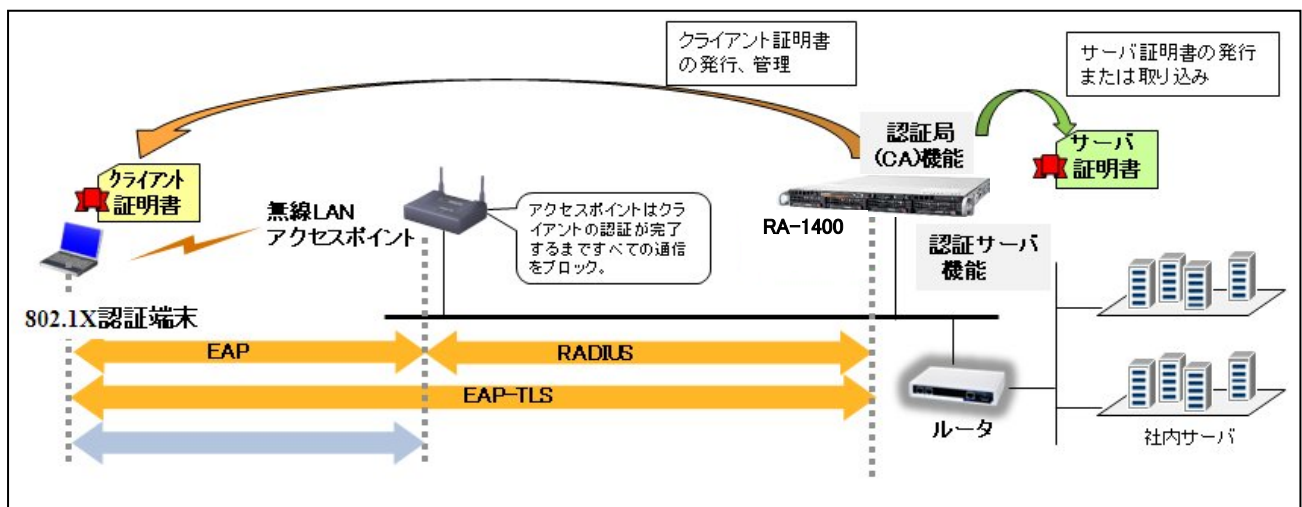
RA-1400 の RADIUS サーバは RADIUS ポート(1645/1646 1812/1813)が標準で利用でき、任意のポートを設定することも可能です。また、標準アトリビュートに加えてベンダー独自のアトリビュート(VSA)を自由に追加できるため、NAS や RAS、認証 VLAN、SSL-VPN などの製品と連携が可能です。さらに運用面で重要になる同一ユーザ ID によるアクセス数制限機能を持ち、多重ログインを防止できます。同一 ID で無制限にアクセスを許可することも可能です。

また、自分自身で認証するだけでなく、負荷分散や管理の分割などを目的として認証サーバを分散させるために、RADIUS Proxy 機能にも対応しています。認証時にユーザ名のグループ ID (realm) に応じて認証する RADIUS を振り分けることが可能です。さらに eduroam にも対応しているため、学内の認証と eduroam を利用した学外の認証を RA-1400 1 台で対応できます。

■ 様々な認証方式に対応

RA-1400 はユーザ認証の方式として RADIUS で標準的な PAP/CHAP に加え、認証スイッチのポートアクセス制御や無線 LAN のアクセスポイントで利用されている EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-PEAP、EAP-TTLS プロトコルに対応しています。これにより認証スイッチや無線 LAN アクセスポイントなど様々な経路で要求される大量のユーザ認証を集中的に処理、一括管理できます。

※ EAP (Extensible Authentication Protocol、拡張認証プロトコル)



■ プライベート CA 機能による証明書の発行、管理

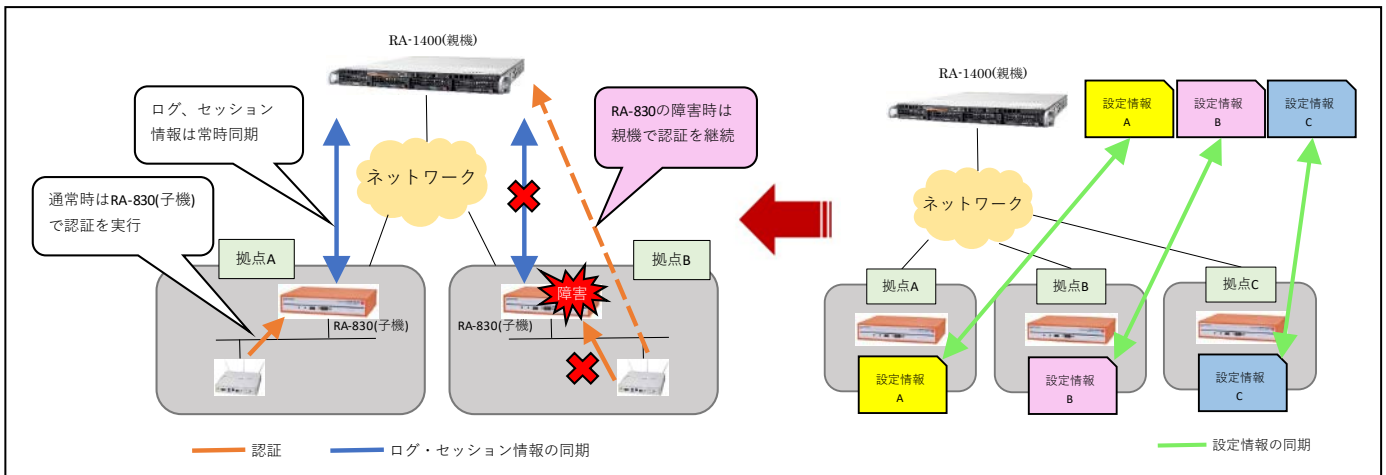
EAP-TLS、PEAP、TTLS を使って認証をおこなう際は認証サーバ (RA-1400) 側に証明書が必要です。RA-1400 は自身が CA (認証局) としてサーバ証明書を発行できます。また、外部 CA で作成したサーバ証明書の取り込みにも対応します (予定)。さらに、クライアント証明書の発行や、失効リストの更新がおこなえます。1 ユーザにつき複数枚の証明書を発行できるため、有効期限の満了前に新しい証明書を発行できます。その他開始期日を 1 カ月後、などとした証明書を発行できるなど、運用条件にあわせた対応が可能です。

■ 多数のユーザに対応

RA-1400は内部に100,000ユーザまでの情報を格納できます。ユーザ情報は”プロファイル”と呼ばれる属性の集まりを利用することにより、グループ化して効率よく管理できます。ユーザ情報はプロファイルやユーザ証明書を含めテキストファイルでの一括登録、あるいは取り出しが可能です。また、Microsoft® ActiveDirectory®やLDAPサーバで管理しているユーザデータベースとの連携も可能です。

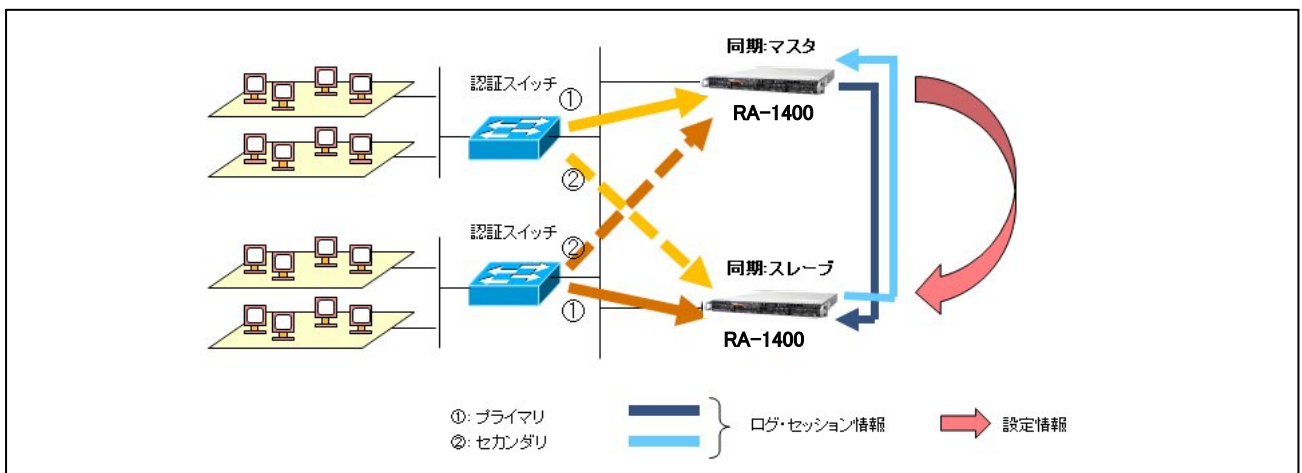
■ 親子連携機能

RA-1400は自身を親機、下位機種であるRA-830を子機として親子連携が可能です。各拠点の端末は、通常子機で認証を行います。万一の故障時にはセンタの親機で認証を継続できます。親機は1台で複数の子機をバックアップできるため、効率的なバックアップが実現できます。また、子機は常時ログ・セッション情報を親機に送信し、親機では複数の子機の状態を管理します。そのため1台の親機からすべての子機の状態を確認できます。設定情報についても、親機のGUIからの操作で子機側のアカウントの追加・編集・削除が可能です。親機側はすべての子機の設定情報を管理しているため、子機の増設や子機の故障時も、迅速な対応が可能です。



■ 冗長構成の実現

RA-1400は複数台によるActive-Active方式の冗長化をサポートしています。1台のRA-1400（プライマリ）に障害が発生しても別のRA（セカンダリ）を利用して運用を継続できます。また各RA-1400間でログ・セッション情報を同期しているため、負荷分散目的でも使用可能です。さらにマスタースレーブ方式の設定情報の同期機能をサポートしています。いずれかのRA-1400をマスタとして設定すると、その設定がスレーブのRA-1400にも自動的に反映されます。また同期化区間はTLSにより暗号化されます。



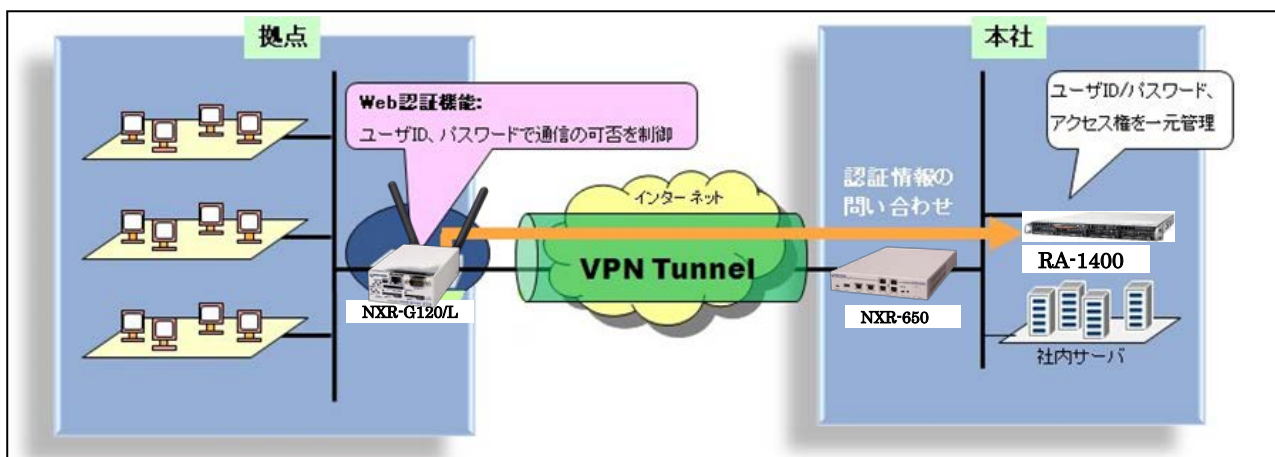
■ わかりやすい操作画面により導入、運用が容易

RA-1400 は Web ブラウザで提供されるウィザード機能を利用すると、ナビゲーションにしたがって項目を選択するだけで最低限必要な設定を簡単におこなえます。また、全ての機能の設定は Web ブラウザを用いた GUI 画面から設定できます。機能追加時などファームウェアの更新も Web ブラウザからおこなえます。専用のユーティリティを使わないため、管理用 PC の OS を選びません。また、GUI 画面からの本装置の設定情報の保存/復帰も可能です。

■ VPN ルータ FutureNet NXR シリーズとの強力な連携

VPN ルータ、FutureNet NXR シリーズは、ルータからユーザ毎に ID を発行し、その認証をおこなうことで通信の可否を制御できる『Web 認証機能』を備えています。RA-1400 は、ユーザが Web 認証を利用する際に VPN ルータに代わって認証要求に応えることができます。これにより、多数のユーザを抱えるインターネットマンションや IP-VPN などのブロードバンド環境で、**認証情報の一元管理**が可能になります。

例えば全国の支店を移動する社員の場合、社員はブラウザを起動して Web 認証を通れば、どこからサーバやインターネットへアクセスしても、常に同じセキュリティポリシーが適用されます。このとき、特別なソフトウェアは必要ありません。同様に自宅から VPN を利用して社内ネットワークにアクセスするユーザ向けにも有効なソリューションとなります。



また、RA-1400 のプライベート CA 機能を利用して、FutureNet NXR シリーズで X.509 証明書を使った IPsec 接続をおこなう際に利用する証明書を発行することができます。

■ 強力な運用サポート機能

RADIUS サーバとしてのすべての機能を設定できる**本装置管理者**とユーザ情報だけを変更できる**ユーザ管理者**、自分のパスワードの変更や自分用に発行された証明書の取得だけができる**ユーザ**を分けて管理できるため、スムーズな運用が可能です。認証のログやアカウントログはユーザの属性や名前などで並べ替え、抽出、閲覧することができます。また、これらのログはブラウザ上で表示するだけでなく、SYSLOG で別のホストに送信することもできます。異常時には SYSLOG や SNMP のトラップを使って警報を通知することもできます。さらに、到達性確認機能やパケットキャプチャ機能(Ethereal/Wireshark 形式で取得・保存可能)によるネットワークの診断も可能で、万一の不具合のときも原因の究明が容易です。

また、本体ハードウェアの電源ユニットは 2 台構成で冗長化されており、片側が故障してももう片方で運用を継続できます。

■ 追加予定機能

今後、外部の CA で発行した証明書のインポート機能等を追加していく予定です。

製品名		FutureNet RA-1400
通信インタフェース		Gigabit Ethernet (Auto MDI/MDI-X) × 2
IP ルーティング方式		スタティック
RADIUS サーバ機能	ポート番号	1645/1646、1812/1813 1645/1646 と 1812/1813 同時利用可能 認証用ポート、アカウント用ポートの任意設定も可能
	認証方式	PAP/CHAP、EAP-MD5、EAP-TLS、EAP-PEAP、 EAP-TTLS
	最大登録クライアント	1,000
	最大登録ユーザ	100,000
	VSA	○
	アトリビュート追加	○
	Active Directory との連携	○
プライベート CA 機能	LDAP との連携	○
	クライアント証明書発行	PEM/DER 形式、PKCS#12
	サーバ証明書発行	
	証明書数	10,000
	鍵長	2048
	X.509 対応	V3 拡張 Key Usage 選択、V3 拡張 Extended Key Usage 選択
	失効理由選択	○
パケットフィルタ		20 エントリを設定可能 制御方法: プロトコルタイプ、ポート番号、IP アドレス の組合せによるフィルタリング機能
多重ログイン制限機能		対応(1~9 の同時接続数制限が可能)
冗長化機能		Active-Active 方式の認証二重化 プライマリ-セカンダリ方式の設定情報の同期 RA-1400/RA-830 間の親子連携 ※親機側機能を搭載
本体設定		Web ブラウザからの GUI 設定 基本設定ウィザード(Web 設定画面内)
ユーザ管理		ファイルによるユーザ情報の一括登録/取り出し、 GUI からのユーザ登録、削除、ユーザのグループ化による管理、 一時的な認証許可/不許可の制御
運用管理機能		装置管理者、ユーザ管理者、ユーザの 3 レベルの管理権限、認証ログ、アカウントログ、システムログの閲覧、並べ替え表示、ログ情報の SYSLOG、アクセスログ機能、オペレーションログ機能(パスワードのみ)、ファイルへの出力、SNMP、SNMP Trap 対応、NTP クライアント機能、ファームウェアの更新
ネットワーク診断ツール		パケットキャプチャ機能、到達性確認機能、 ルート確認機能、名前解決確認機能
ファームウェアの更新		ブラウザにより更新可能
内蔵ストレージ		HDD 1TB × 2 ※ RAID 1 構成
外形寸法		437mm(幅) × 507mm(奥) × 43mm(高さ) 突起物を除く ※ 19 インチラックマウント・1U サイズ
重量(ケーブル等除く)		本体重量 約 10.6kg(梱包重量約 17kg)
電源		400W 電源ユニット 1+1 冗長 AC 100V ~ 240V
消費電力		約 160W(最大)、発熱量 約 576kJ(約 137kcal/h)
動作環境条件		温度: 10°C ~ 35°C、湿度: 10% ~ 90%(結露なきこと)
認定/準拠		VCCI-Class A 準拠、RoHS 指令対応
添付品		電源コード、19 インチラック取り付け金具、保証書

※ 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

/// 価格、販売等 ///

■ FutureNet RA-1400

定価： オープンプライス

販売開始： 2024 年 4 月末（出荷予定）

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発等ネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発を行う開発会社です。FutureNet®ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス (WarpLink®)の提供をしています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイ等の装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供等で幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14 穴戸ビル
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容 : ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

FutureNet RA-1400 に関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp

ホームページ <https://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

-
- ・ 「FutureNet®」、「WarpLink®」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
 - ・ その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。